

令和7年12月23日
山形県立山形東高等学校

県内報道機関 各位

令和7年度 2年次データサイエンス実践講座の開催について（取材依頼）

本校では、将来、地域や国内外の課題を解決できる資質・能力の育成を目指し、生徒の主体性を重視する課題研究・探究活動を実施しています。

今年度は、2年次生の探究科生徒を中心に、標記の実践講座を下記のとおり実施いたしますので、取材をお願いいたしたくお知らせいたします。

記

- 1 日 時 令和7年12月26日（金） 13：30～17：00
（45分×4コマ）
- 2 対 象 2年次探究科（国際探究科・理数探究科）生徒を中心とする100名程度
- 3 場 所 本校 第1多目的室
- 4 内 容 仮想の「遊園地」売上アップを目標に、生徒たちが、レストランを運営する「フード本部」、ショップを運営する「商品本部」、イベントの企画・運営を行う「イベント本部」の、3つの本部のデータ分析スタッフに分かれ、課題解決に向けてデータ分析、施策提案を行うことで、「課題解決力」、「コミュニケーション力」、「答えのない問いへのチャレンジ」という、これからの社会で活躍する為の実践的な能力を身につけさせるもの。
- 5 講師・ファシリテーター アクセンチュア株式会社 社員約10名
- 6 取 材 取材いただける場合は、事前に下記担当あて連絡いただくとともに、当日は本校事務室で受付をお願いします。
- 7 その他 別紙も参照願います。
総合コンサルティング企業のアクセンチュア株式会社におかれましては、社会貢献活動の一環で本講座を支援していただいています。

【担当】 教 頭 結城 正克
TEL 023-631-3501
Email yuukim.jg@pref-yamagata.ed.jp

STEAM × 探究実践教室

Powered by Accenture

全国各地で累計

2,000名

以上が受講

アクセンチュアは、日本の将来のリーダーになるための新しい考え方を生み出す人材を育てるために、STEAM教育に関する特別なプログラムを提供しています。

本プログラムは、わたしたちアクセンチュアが得意とする「課題解決力」と「コミュニケーション力」、「答えのない問いへのチャレンジ」という、これからの時代で活躍する為の実践的な能力を身につけられるプログラムです。次世代への大きな可能性を秘めた皆さまにとって、良いきっかけとできればと思いますので、この機会に是非ご参加ください。

STEAM×探究実践教室

Powered by Accenture

実施概要

2025年12月26日

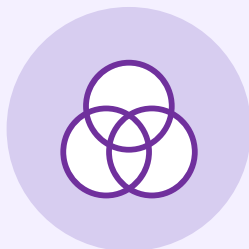
(13:30～17:00)：45分×4コマ

データサイエンスを用いて様々な社会課題や企業のビジネス課題の解決に取り組んでいる
アクセントチュア社員が講師、ファシリテータを担当しますので、実践的なデータサイエンスが学べます。
また、休み時間を利用して、大学受験や就職等の進路についてお話できます。

本教室によって得られること



データを分析し、データの傾向把握や、意思決定、コミュニケーションを推進するための論理的思考力



探究のプロセス（仮説立案→情報収集→仮説検証→考察→発表）に基づき解
決策を考える力



グループワークを通して学ぶ、コミュニケーション力/考えをまとめる力/発表力

授業の構成（40分×4コマ）

1

時限目

仮説立案
（優先度付け）

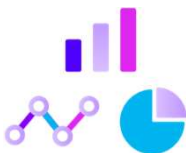


深掘りしたい仮説を選択

2

時限目

仮説立案
（検証方法）



検証方法を選択

3

時限目

データの
読み取り



データの読み取り、分析

4

時限目

施策の選択・
最終発表



提案する施策を選択し、
理由を発表

授業の設定

仮想の「遊園地」売り上げアップを目標に、皆さんには3つの本部のデータ分析スタッフとなり、課題解決に向けてデータ分析、施策提案してもらいます。

3つの本部



フード本部
レストランを運営



商品本部
ショップを運営



イベント本部
イベント企画・実施

STEAM × 探究実践教室

Powered by Accenture

プログラムの実績



文部科学省主催
令和6年度「いーたいけんアワード
(青少年の体験活動推進企業表彰)」

優秀賞受賞

青少年の体験活動に関する優れた取組に選出されました！

プログラムのポイント

1 実社会に根差した課題解決



2 チームコミュニケーション



3 データをとらえた思考



4 実際に働いている社員との交流



参加者の声

生粋の文系なので「データなんて」と数字を敬遠していたが、**今回のプログラムでは自分の文系脳と理系脳がフル稼働してとても楽しかった！**

後半の話し合いや最終発表で前半の授業で学んだことが活きて、話し合いが盛り上がった瞬間は本当に興奮した、！



データを根拠に施策をだして問題解決することはとても効果的だった！
今回の学びを自身のテストの点数を上げるための勉強法に応用してみたい！